



情報は名古屋デスクへ

TEL052(561)5212 FAX052(561)5207

WEBでのお申し込み

中部経済

検索

不動産賃貸仲介・管理・売買 名古屋の部屋探し

部屋セレクト

SP-POINT

男性に似合うスーツスタイル オンラインで無料診断

印象アップコンサルティングのHappy coordinate(ハッピーコーディネート)、名古屋市中区新栄1の6の15階発行ビル2階、曾羽弥生代表、電話050・55085・9227)は、男性向けに似合うスーツスタイルを無料で診断するオンラインサービスを開始した。体の特徴に関する簡単な質問に答えると、米国、英国、イタリアの3カ国のスタイルを提案する。スーツ選びに悩む男性が多いため企画した。11日まで開催する異業種交流展示会「メッセナゴヤ2020オンライン」でもPRしている。

月内にもサロン公開

診断サービスは、ホームページから利用できる。まずペーシから利用できる。首や手のひらの特徴など10の質問に答えると、利用者に合う国籍のスーツスタイルと、ジャケットやパンツ、シャツや素材、柄などを紹介する。例えば、米国スタイルは「ワイルドさが魅力」と定義し、大きくてゆとりある

顧客からは「自分のコーディネートに自信が持てるようになった(50代男性など)高い評価を得ている。利用者が増えることで、精度の高い診断結果が得られる仕組みにした。近年、男性からの相談が増えている。今年夏に実施した独自のアンケートによると、ほぼすべての男性が、スーツ選びに困っていることが判明した。特に40・50代から「自分合ったデザインのスーツが見つからない」という意見が多かったという。その悩みを解決できる方法として、今回のサービスを企画

(山田悠)

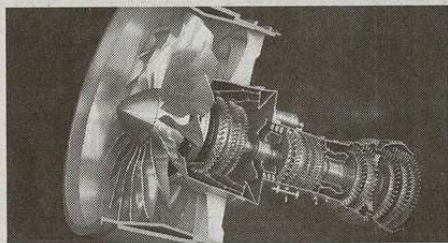
した。12月中にも同じ趣味や目的を持つ仲間と意見交換ができるオンラインサロンを公開する。診断対象とした3カ国別のファッションコンテストの開催や、最新情報発信、共有を目指す。百貨店などとも連携したい考え。オンラインサロンでは、ファッションに加え、曾羽代表が得意とする英語やワインもテーマに交流する。オンラインサロンの会費は1カ月500円。曾羽代表は「男性向けの診断ツールは少ないため、役立つと思う。オンラインサロンは最初の1年間で300人程度の会員を目指したい」と話している。

曾羽代表は名古屋市中出身。英会話学校の講師や企業での通訳経験を持つ。昨秋、インテリアコーディネートなどの資格を保有。顧客の顔や骨格、似合う色を診断し、魅力を引き出すファッションを提案する。百貨店に同行してアドバイザーもしている。2017年に創業した。

Happyコーディネート



オンライン診断サービスを紹介する曾羽代表



メッセナゴヤ2020オンライン 11月16日(月)~12月11日(金) 出展企業 URL:messenagoya.jp

製品内部をCGで発信 製造業に提案

CG制作のルース

コンピュータグラフィックス(CG)制作のルース(本社名古屋千種区桶元町2の60の2、佐藤宏社長、電話052・253・5331)は、製造業向けにCGを提供している。製品内部など実物を見せるのが難しい部分をCGで再現し、製品の特長を正確に発信する。開催中の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2020オンライン」に初出展し、事業を広くPRしている。

(伊藤綾音)

同社はCG技術を駆使して動作中の機械の内部や、実際に近づくと危険な現象を再現している。



佐藤宏社長

場、巨大な製品や微細な部品など見せづらい部分を再現し、製品理解を深めるツールとして提案している。またCGは、製品のカタログにも有用だ。製品の目録が完成してから撮影するのは時間がかかり、撮影の技術も必要になる。CGであれば、実物がなくても図面をもとに作成できる。製品などの角度からも再現

経営羅針盤

三夏UFJリサーチ&コンサルティング

74

新型コロナウイルスの影響で、われわれの食生活は大きく変わった。外食を控え、内食が増えたことで、食品の需要構造までが急激に変化した。この激変に対し、国内で食料に関する問題は、ますます小売側の努力、加えてそれを支えるのが国の食品流通機能が機能し続けたからである。

水産物、食肉、花きなど生鮮品を扱う取引場の総称であり、現在、国内には広域・中核流通拠点である中央市場が64あり、地方市場においては千を超える数が開設されている。日本の卸売市場は、約半世紀にわたり卸売市場法という法律に守られてきた。一方、昨今では卸売市場を



林田 充弘(はやしだ・みつひろ) コンサルティング事業本部長 戦略部(名古屋)チーフコンサルタント

販売を禁じる「第三者販売の禁止」、仲卸が卸を介さずに産地から直接仕入れるのを禁じる「直荷引きの禁止」、卸が市場内に無い商品の販売を禁じる「商物一致の原則」などの主要ルールが、開設者の判断に委ねられることになったことである。市場が本来有する公益性を維持しつつ、実態に

少しくも高く売る卸、需者の依頼を受け、高品質な生鮮品を少しでも安く仕入れる仲卸、という関係で卸売市場は成り立ってきた。法改正で実質的にこの垣根がなくなること、両者が直接競合する場面が今後が増えいくだろう。それが市場を再び活性化させるか、あるいは市場システムの問題をもちたらずのか、各市場の舵取りが問われている。

卸売市場の根本原理が変わる

変革する生鮮品流通(1)

經由せずに大も4割に達しており、卸売手製造業や小市場の役割が問われている。そうした中、今年6月、

卸売市場には、大きく

おける生鮮品流通の変化

「日本で珍しいものを、この思いからウサギカフェを始め」と話すのはウサギカフェを運営するペリポン(本社名古屋市中区)取締役の倉田じゅんこさん。2008年、東区泉に日本初だというウサギカフェを開業した。「猫カフェはあってもウサギカフェはなかった」と